

2017年10月13日

スマートファクトリー実現に向けた生産性向上システム

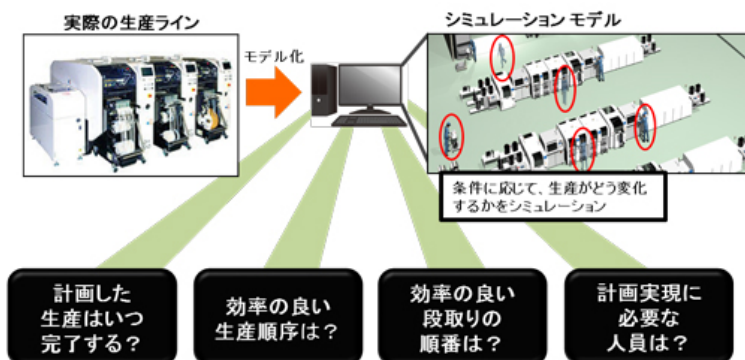
製造オペレーション最適化 MFO※を受注開始 実装工程を丸ごとシミュレーションし、実行計画を自動作成

パナソニック株式会社は、電子機器のモノづくりでプリント基板に電子部品を装着する現場において、実装工程を忠実に再現したシミュレーションモデルを活用し、生産性を向上させるシステム「製造オペレーション最適化 MFO」の受注を本日10月13日より開始します。

近年、モノづくり現場では、お客様ニーズの多様化により、多品種少量生産においても大量生産と同等の生産性を実現するマスカスタマイゼーションへの対応が求められています。これに対応するためには、生産性向上の妨げとなる機種切り替えを最小限にし、効率良く生産ラインを稼働させることが重要であり、生産設備能力や現場リソースを考慮した高精度な生産計画の立案が必要となります。

多くの現場では、熟練者が生産計画のもとに各基板の生産順序/ラインの調整、段取り作業計画の作成、作業人員の割り当てなどの実行計画を作成し、現場についでいます。最適な実行計画の作成には、多くの工数と熟練者のノウハウが必要であり、この部分が生産計画と実生産との差異や生産性低下の要因となっていました。こうした課題を解決するために、シーメンスの生産工程シミュレーター Plant Simulation モジュールに、当社が保有する実装工程に関するノウハウを融合し、新たなシステムを開発しました。

本システムは、他社設備や作業員も含めて実装工程を丸ごとシミュレーションすることにより、条件に応じた生産の変化を詳細に分析することが可能で、その結果をもとに生産計画と実生産をつなげる最適な実行計画を自動的に算出することができます。



※ Manufacturing Operations Optimizerの略

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
プロセスオートメーション事業部
経営企画部 広報課 兼子
TEL:050-3478-3587

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。